

AI時代の教育学会  
2020年度事業計画(案)

- (1) 学術論文の作成と会員の作成した論文の審査  
年6回程度論文誌を誌面またはWebで発刊し、学会員の学術論文作成を促進すると共に、編集委員会と査読委員により会員の作成した論文を審査する。  
素早い論文査読を行うため、2名の査読者が2カ月以内に1回査読を行う。
- (2) 全国大会の開催  
全国の学校の教員を主な対象として、年1回夏期に全国大会・セミナーを公益財団法人学習情報研究センターと一般社団法人デジタル表現研究会(D-Project)と共催形式で実施する。  
本年は3月20日に横浜市にある環太平洋大学にて開催することとしている。
- (3) 研究会, 講演会, 講習会等の開催
  - ・年2回「研究会」を開催する。第3回目を9月～10月に開催する。第4回目を3月下旬に開催する。
  - ・定例の論文編集、年次大会、全国研究発表会や広報・企画の各委員会に加え、特別委員会でAI時代の教育に関する諸課題(政策検討、AI倫理、情報教育など)についての調査研究を行う。
- (4) 論文誌, 会誌, ニュースレター及び図書の発行と販売  
年6回公益財団法人学習情報研究センター発行の「学習情報研究」誌に、学術論文、実践研究報告や学会からの連絡事項(論文執筆要領)などを掲載する。  
メルマガによるニュースレターの発信や、図書の発行を適宜実施する。
- (5) 国内外の学協会との連携  
国内外の学協会からなる相互会員を募り、連絡及び協力を図る。
- (6) その他  
AI時代の教育研究に関し必要と認められる事業を行う。

以上